

新刊『労働組合の未来を、デザインする。』をアスコムより 【10月1日】発売



株式会社スタメン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大西泰平）の専門役員であり、これまで350を超える労働組合の支援に携わってきた佐々木隆寛は、著書『労働組合の未来を、デザインする。』を、2026年10月1日に株式会社アスコムより発売します。

AI、人手不足、転職の一般化、働き方の多様化、若手の組合離れ——

「教育・広報・デジタルシフト」の実践策を解説

働き方や人々の価値観が大きく変化する一方で、労働組合の活動には、紙の広報誌、対面中心の会議、前例踏襲型の組織運営など、かつての慣習が今も残っています。

組合員からは「何をしているのかわからない」、若手からは「自分が加入しているかさえわからない」と思われ、役員のなり手不足も深刻化しています。

しかし、本書が伝えるのは、「労働組合はもう必要ない」ということではありません。

AIの普及、人手不足、働き方の多様化、キャリア自律の広がりなど、雇用を取り巻く環境が不安定になっている今だからこそ、働く人の声を集め、会社と対話し、よりよい職場をつくる労働組合の役割は、むしろ重要になっています。必要なのは、労働組合をなくすことではなく、時代に合わせて、そのあり方を「デザインし直す」ことです。

本書では、労働組合を今の時代に合った組織へと変える具体策として、「教育」「広報」「デジタルシフト」という3つのアップデートを提案します。

労働組合の未来をつくる「教育・広報・デジタルシフト」

本書では、労働組合をアップデートするための3つの要素を具体的に解説しています。

教育——個人の成長の基盤となる要素・組織

AIやテクノロジーによって仕事そのものが変化する時代に、組合員の雇用を守るためには、変化に対応できる「学び」を支援することが重要です。

広報——組合員に知ってもらい、理解と共感を生み出す要素

「労働組合が何をしているのかわからない」という状態を変えるために、活動や成果をわかりやすく伝え、組合員との接点をつくり直します。

デジタルシフト——組合員と接点を増やし、組織の成長を促進させる要素

働く場所や時間、世代が多様化する中、従来の対面中心のコミュニケーションだけでは、組合員との接点を維持することが難しくなっています。デジタルを活用し、組合員との「つながり」をつくり直すことで、これからの時代に合った組織運営を目指します。

会社と闘う組織から、未来をともにつくる「共創パートナー」へ

これまでの労働組合は、会社に要求し、交渉し、働く人の権利を守る存在として発展してきました。その役割は、これからも変わりません。一方、事業環境が急速に変化する現代では、「守ってほしい」「賃金を上げてほしい」と求めるだけでは、持続的な成果につながりにくくなっています。

組合員の声をデータとして集め、会社の経営状況や業界動向を理解し、「従業員の成長と会社の成長を両立させるために、何ができるか」を提案する。そんな新しい労使関係が必要です。本書では、会社を

一方的な「闘争相手」と捉えるのではなく、働く人と企業の未来をともにつくる「価値共創のパートナー」として、労働組合の役割を再定義しています。

350を超える労働組合の支援経験をもとに、現場で実践できるヒントを紹介

著者の佐々木隆寛は、大手企業の金融事業で銀行業務に従事した後、労働組合の専従役員（中央執行書記長）として、労使交渉、組織運営、教育研修、広報、組織化、政策推進など、幅広い業務に携わってきました。

現在は株式会社スタメンの専門役員として、金融・労働組合双方での実務経験と、同社のIT・デザインの強みを掛け合わせ、350を超える労働組合の支援に従事しています。全国での講演・セミナー活動や、note等での情報発信も行っています。

本書では、実際に変革へ踏み出した労働組合の事例を紹介しながら、現場で実践できる具体的なアップデート策を解説します。

本書は、こんな方におすすめです

- ・労働組合の委員長、書記長、執行委員、支部役員
- ・若手組合員との接点づくりに悩んでいる方
- ・組合役員のなり手不足を解消したい方
- ・紙中心の広報や会議を見直したい方
- ・組合員のキャリア形成やリスクリングを支援したい方
- ・労使関係を対立型から提案・共創型へ変えたい方
- ・労働組合での経験を、自身のキャリアに生かしたい方
- ・人事、経営企画、組織開発、人的資本経営に関わる方

著者プロフィール



佐々木隆寛（ささき・たかひろ）

大手企業の金融事業にて銀行業務に従事。住宅ローンおよび資産運用業務（投資信託・NISA・外貨預金等）を担当する。その後、労働組合にて専従役員（中央執行書記長）を務め、労使交渉、組織運営、教育研修、広報、レクリエーション企画、組織化、政策推進など幅広い業務に携わる。あわせて上部団体（労連）との兼任も経験。

現在は、SaaS企業である株式会社スタメンのカスタマーサクセス部長を経て専門役員。金融・労働組合双方での実務経験と、同社のIT・デザインの強みを掛け合わせ、350を超える労働組合の支援に従事している。全国での講演・セミナー活動のほか、note等での情報発信も行う。

note

https://note.com/sasaki_takahiro

書籍概要

書名：『労働組合の未来を、デザインする。』

著者：佐々木隆寛

発売日：2026年10月1日

定価：本体2,000円＋税

仕様四六判：310ページ

ISBN：978-4-7762-1488-5

発行：株式会社アスコム

販売：全国の主要書店およびオンライン書店

Amazon：<https://amzn.asia/d/0dBvEDec>

株式会社スタメンについて

「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める。」を経営理念に、2016年に創業。その後順調な事業拡大により2020年12月に株式上場。HR Tech領域のサービスである「TUNAG」、クラウド型のIT資産管理・操作ログ管理ツール「Watchy」をはじめとした、複数のサービスを展開しています。

会社名：株式会社スタメン

代表者：代表取締役社長 大西 泰平

東京本社：東京都千代田区麹町6-6-2 番町麹町ビルディング 5F

名古屋本社：愛知県名古屋市中村区下広井町1-14-8

事業：TUNAG（ツナグ） <https://biz.tunag.jp/>

Watchy（ウォッチー） <https://watchy.biz/>

創業：2016年8月

従業員数：171名（連結社員数：2025年6月末時点）

証券コード：4019

URL：<https://stmn.co.jp/>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000383.000023589.html>

株式会社スタメンのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/23589

■ 本件に関するお問い合わせ

・株式会社スタメン（担当：大島（おおしま））

- E-mail : tetsuya.oshima@stmn.co.jp
- TEL : 052-990-2405